



毎月1回  
25日発行

# はしもと★ランド

第116号  
4月25日

<http://hashimoto-land.com>

はしもとランド

検索

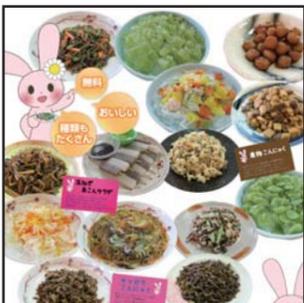
■発行・編集・印刷■橋本新聞販売株式会社 企画部 丸岡・高橋  
〒370-0063 高崎市飯玉町42 TEL.027-361-4950 FAX.027-361-5009 e-mail:takahashi@hashimoto-land.com



## 安く! 近く! 楽しく! GW にオススメ! 親子で遊べる 6スポット!!

### こんにやく博物館

こんにやく生産量日本一を誇る群馬県。甘楽町にある日本一のこんにやくメーカー、「ヨコオデイリーフーズ」がこんにやくの文化とおいしさを多くの人に伝えるため昨年開館した。こんにやく芋からこんにやくが出来までの製造工程が判りやすく展示され、ガラス越しに製造ラインを見学できる。見学後にはおいしくヘルシーなこんにやく料理の無料試食を。なんと10種類の様々なこんにやく料理がバイキング方式で味わえる。昔ながらのこんにやくを実際に作る「手作りこんにやく体験」(有料)も人気。GWはみんなで楽しめるおいしい博物館へ。



■甘楽郡甘楽町小幡 204-1  
TEL 0274-60-4100  
10時～17時  
入館無料 無休

### ぐんまこどもの国

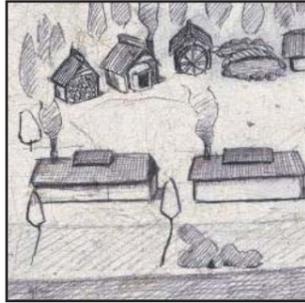
金山総合公園の中にあるレジャー施設。展望台、芝生広場、野外ステージ、児童会館、サイクル広場などがある。サマーボブスレーやサイクルモノレール、変り種自転車など、親子で体を動かして楽しめる。野鳥の森ではメジロやシジュウカラなどの野鳥の観察も。自然と人とのふれあいを通じて想像力を育てることを目的としたふれあい工房では、木工と陶芸の教室が開かれている。他にもいろいろなイベントがあるので、ホームページで確認してみよう! 4月下旬にはジャブジャブ池が本格的にスタート、5月5日こどもの日は有料遊具が無料。



■太田市長手町 480  
TEL.0276-22-1766  
各施設9時30分～17時  
月曜定休(祝日の場合は翌日)学校休み期間(春夏)は有料遊具無休

### 土と火の里公園

自然の中で工芸体験が出来る施設。染色工房(藍染、型染め)、陶芸工房(手回し、電動ろくろ)、ガラス工房(宙吹き、サンドブラスト)、竹細工工房(竹かご、竹とんぼ)、瓦工房(表札、手形)などさまざまな工芸品作りに挑戦できる。それぞれの分野の専門家が親切に指導、手助けしてくれるので子どもから大人まで楽しむことができる。園内に食堂「さと山」もあり、うどん・そばなどが味わえる。入館は無料だが各体験はそれぞれ有料。近くには清流・鮎川の浸食活動により形成された



石峡の蛇喰溪谷や、登山道が全部階段になっている子王山の二千階段もある。  
■藤岡市上日野 2240  
TEL.0274-28-0385  
9時～17時(11月～3月は9時～16時)月曜定休(祝日の場合は翌日)

### 碓氷峠鉄道文化むら

明治26年に開通した旧碓氷線は日本で始めて導入されたアプト式鉄道。有名なレンガ造りの碓氷第3橋梁(通称めがね橋)、旧丸山変電所など碓氷峠の鉄道の歴史を今に伝え、鉄道資料館や鉄道展示館、あぶとくん運行コースなど小さなお子様から鉄道ファンまで楽しめる鉄道テーマパークだ。碓氷線で活躍した各種電気自動車や特急あさま号を展示し、EF63形電気機関車の体験運転もできる。鉄道ファンにも人気のここでは手に入らないレアな鉄道関連グッズはおみやげに最適。



■安中市松井田町横川 407-16 TEL.027-380-4163  
9時～17時(3月～10月)  
火曜日定休(祝日の場合は翌日)入場料/中学生以上500円、小学生300円、小学生未満無料、体験施設利用料金は別途必要。

### 前橋児童文化センター

今年1月下旬の新装オープン時に新しく導入されたプラネタリウム(有料)は、漆黒の夜空に宝石のような星空を投影できる光学式と、星々の間を宇宙旅行のように飛び回り、天体の間近で観察できるデジタル式を組み合わせた、県内で唯一の最先端ハイブリッド型。係員による夜空解説とともに、「星座のお話」と「天文学シリーズ」の2種類の番組を投影している。これらの番組は市民の協力で毎月、交互に作られているオリジナル番組で、幼児から大人まで楽しむことができる。こども公園東ゾーンと公園内の遊具、ゴーカート等は再整備中、子ども公園西芝生ゾーンは5月頃まで養生中。



■前橋市西片貝町 5-8  
TEL.027-224-2548  
9時～16時30分  
月曜定休(休日の場合は翌日)、毎月第2木曜日

### 神流町恐竜センター 恐竜王国 中里

1985年に日本で初めて多野郡中里村(当時)で恐竜の足跡が発見されたのを機に、恐竜王国を建国。恐竜や古代生物などの貴重な化石や標本などを約100点を展示、リアルな恐竜ロボットが動く迫力いっぱいのライブシアターが人気。モンゴルの恐竜の展示もあり、約1億2000万年前の神流町の様子が描かれたパネルなど、楽しみながら太古の世界が学べる。また、化石発掘体験(要予約)や化石のレプリカ作成体験も可能。付近では全国的に有名になったイベントの「鯉のぼり祭り」が開催され、神流川の上空を約800匹の鯉のぼりがにぎやかに泳ぐ姿が見られる。



■神流町神ヶ原 51-2  
TEL.0274-58-2829  
9時～16時30分 月曜定休(祝日の場合は翌日)入館料/大人600円、小・中学生300円



城跡の鳥居と社



城跡の満開の白梅

新田義貞が鎌倉幕府討伐の挙兵をした際、従ったものはわずかに150人にとすぎなかった。その中に桃井義胤の末裔、桃井尚義がいた。尚義は義貞によく従い、戦を共にした。同志だった足利尊氏は後醍醐天皇に背いた

昔は、吉岡町と榛東村は一緒の村であり、桃井の里と呼ばれていた。平安時代の地頭で源頼朝に随兵した藤原八郎は桃井と改姓し、さらに鎌倉時代、清和源氏の一族足利義胤(よしたね)が支配するようになると、やはり桃井に姓を改めていく。以後その子孫の桃井氏が支配したが、戦国時代には長野氏の配下になった。その後、武田氏、北条氏が治め、北条氏が滅ぶと両城とも廃城となった。

吉岡町の桃井城と同じ頃に存在したもう一つの桃井城が榛東村にあった。吉岡町にあったものは東城、榛東村にあったものは西城と呼ばれていた。一方が攻撃を受けるともう一方が助けるといいうように二つの城が互いに補い合う関係で、この様な形態を「別城一郭」と言うそうである。

桃井尚義は義貞によく従い、戦を共にした。同志だった足利尊氏は後醍醐天皇に背いた

「城跡」にある白梅がちょうど満開だった。今年春の歩みが遅く、冬がいつまでも居座っていたが、やっと暦通りになって来たようだ。しかしコートは脱げない。私は北国育ちで寒さには強いと思っていたが、体がいつの間にか関東の気候に馴染んでしまい、子供頃の頃のように寒風の中でも平気とはもういかな

吉岡町の東城同様、こも城は残っていない。しかし東城の方は城のあった丘が目立つのでまだ城の存在を意識させるが、ここは平地だったためか、城跡に民家が立ち並び田畑もあって城の形跡すらない。わずかに鳥居と社が「記念碑」としてあるだけだ。

上州をゆく ⑥⑥ 二城を構えた桃井の里  
ペンネーム 国定忠治(高崎在住)